

健やかさがウォーキングイベント企画運営業務委託仕様書

1 委託事業名

健やかさがウォーキングイベント企画運営業務

2 課題

高齢社会の今日、健康寿命の延伸が重要な課題となっている。健康維持には日常的な運動が有効であり、なかでも「歩く」ことは手軽で、歩数という形で運動量の見える化が可能であることから本来習慣化しやすい運動とされる。

しかし、車社会の佐賀県では日常的に歩く機会が少なく、平均歩数も低い状況にある。特に、シニア世代では退職後の生活変化や外出機会の減少、社会的つながりの希薄化などにより、個人での継続が難しい傾向がみられる。このように、ウォーキングは取り組みやすい一方で、環境や生活状況により習慣化しにくい側面があるため、外出のきっかけづくりや社会的な関わりを取り入れた活動が重要である。

3 目的

本業務は、2種類のウォーキングイベントの開催を通じて、県民の「歩く」健康活動を「始める」、「続ける」ための個人への動機づけを図る。各イベントの目的については以下のとおり。

①シニア向けウォーキングイベント

シニア世代が「歩く」ことや「新たな地域における活動（eスポーツなど）」による健康づくりを「始める」、「続ける」ための個人への動機づけを行うとともに、その取組を地域の「通いの場*」における活動として普及・定着させることを目的とする。また、通いの場における参加者同士の交流や支え合いといった社会的な関わりの中でウォーキングや新たな取組を実施することにより、個人では継続が難しい地域における活動の定着を促し、心身の健康づくりを推進する。

*「通いの場」は、住民が主体的に参加し、体操やウォーキングなどの身体活動に加え、交流や見守りの機能も果たす場として位置づけられており、介護予防や健康づくりを推進する重要な役割を担っている。身体活動と社会参加の両面から高齢者の健康を支えることが期待されており、各市町では、高齢者の社会的なつながりを確保し、健康づくりを支える取組として住民主体の「通いの場」の整備・運営が進められている。

②第3回「SAGATOCO 桜ウォーク」

3月末に開催の「さが桜マラソン」のプレイベントとして、実際にマラソンコースの一部をウォーキングするイベントを開催し、県民の健康づくりや健康意識の向上に寄与することを目的とする。また、佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」のダウンロード増加を図る。

| 【実績】 | 日時 | 会場(スタート・ゴール) | コース |
|------|---------------------|----------------|---|
| 第1回 | R7.3.8(土)9:30~12:30 | 佐賀市文化会館市民広場 | ・8km コース ファンランと同様のコース ・4km コース 佐賀新聞社から折り返し |
| 第2回 | R8.3.7(土)9:30~12:00 | 吉野ヶ里歴史公園 弥生の大野 | 公園内を約4km 歩くコース |

※SAGATOCO アプリのスタンプラリー機能を活用し、チェックポイントでスタンプを集めてゴールを目指す仕様。第2回では、各チェックポイントでクイズを出題。

4 業務内容

上記の目的を踏まえ、2種類のウォーキングイベントを開催すること。なお、イベントに参加した高齢者（特に65歳から75歳まで）が、地域における活動（例えば通いの場への参加）の必要性（危機感）に気づき行動を起こすことにつながるアトラクション等の体験機会を設け、行動変容を促す事業設計とすること。（また、当該高齢者の活動は行政からの支援を基にするものではなく、自分たちで会場・費用負担などを工夫する活動であることを認識させること。）

(1) シニア向けウォーキングイベント（開催時期：10月末～12月頃想定）

65-75歳をターゲットに、以下の内容を盛り込んだウォーキングイベントを2回以上開催すること。なお、開催場所については、県と協議し、圏域単位で参加者を募集すること（候補地：唐津市、嬉野市）。

※市実施イベントと同時開催になる可能性があるため、その場合は市と必要な調整を行うこと。

①ウォーキングプログラム

イベント後も通いの場で実践できるプログラムを体験できるようにすること。

- ・安全なストレッチ（準備運動）
- ・正しい歩行姿勢や歩き方のレッスン
- ・歩き方を意識して2～4km程度のウォーキング
- ・車道を極力避けた安全なコース設定やスタッフ及び指導員の適切配置、救護体制などの安全対策を行うこと

②健康測定の実施

会場に5項目程度の健康測定ができるブースを出展し、自身の健康状態を知り、運動習慣を見直すきっかけを作ること。

- ・項目例（体組成、歩行姿勢、血管年齢、フレイルチェックなど）
- ・測定結果の説明を行い、健康意識の向上を図ること

③通いの場の活動紹介・活動体験

参加者が身近な通いの場の「活動内容」や「雰囲気」及び先進的な取り組みを行っている通いの場の「活動内容」や「発起人の思い」を理解することで、地域における継続的な活動参加を促し、また、好事例が他の通いの場にも波及するための活動紹介の機会を設けること。

- ・ブースやステージなどの活動紹介の場を設けること
- ・紹介団体については県の方で決定する

(2) 第3回「SAGATOCO桜ウォーク」（開催時期：3月上旬、参加者500名～1,000名想定）

さが桜マラソンのプレイベントとして、シニア世代だけではなく、ご家族やご友人など全世代が参加できるウォーキングイベントを開催すること。開催場所については、県と協議し決定すること（候補地：神崎市（吉野ヶ里歴史公園 等））。

※市実施イベントと同時開催になる可能性があるため、その場合は市と必要な調整を行うこと

①ウォーキングプログラム

全世代が楽しみながら歩くことができる、仕掛けのあるウォーキングイベントにすること

- ・佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」を活用し、ダウンロードを促すこと
- ・安全なストレッチ（準備運動）
- ・参加者のレベルに合わせたコースの選択が可能にすること
- ・県産品などが当たる抽選会を実施すること
- ・安全なコース設定やスタッフ及び指導員の適切配置、救護体制などの安全対策を行うこと

②健康測定の実施

会場に3項目程度の健康測定ができるブースを出展し、自身の健康状態を知り、運動習慣を見直すきっかけを作ること。

- ・項目例（体組成、歩行姿勢、血管年齢、など）
- ・測定結果の説明を行い、健康意識の向上を図ること

③通いの場の活動紹介・体験

シニア世代の参加者には本人に向けて通いの場の紹介を行う（(1) ③と同様の内容）とともに、その他の世代の参加者には、ご家族に通いの場への参加を勧めていただくための情報発信の場を設けること。

- ・紹介するためのブースを設けること
- ・紹介団体については県の方で決定する

(3) 両イベントの共通事項

①参加者の募集・広報

- ・通いの場などへの広報用のチラシを作成すること
- ・イベント会場周辺のシルバー人材センター登録者、ゆめさが大学の卒業生及び在校生向けに参加者募集の広報を行うこと
- ・ターゲット世代（65-75歳）に効果的にアプローチできる広報媒体を用いること（SNSによるターゲティング広告、ターゲット世代以外へのターゲット世代の同行での参加を促す広報）

②他団体ブースの設置

県と協議し、他団体が広報できるブースを設けること。

③参加者へのアンケートの実施

イベントを通しての参加者の意識変容を把握するため、アンケートを実施すること。

(4) 自由提案

上記の他に、目的達成に効果的な企画があれば、積極的に提案すること。なお、予算は本予算内とする。

4 留意事項

- (1) 委託業務内容については、県と受託者との協議を行い、決定する。
- (2) 事業の運営に必要なかつ適切な人員配置を行うこと。
- (3) 業務遂行にあたっては、委託業務を統括し、県からの指示を受ける窓口として責任者と当該業務の従事担当者を置き、関係者と円滑な事業進行管理や意思疎通に努めること。
- (4) 本委託業務において、第三者（本県及び受託業者以外の者）が所有する素材を用いる場合には、著作権処理等を行うこと。
- (5) 今回の委託業務により制作される成果物の著作権、所有者等、その他一切の権利は佐賀県に帰属するものとする。ただし、著作者人格権の行使を妨げるものではない。

- (6) 成果物は、佐賀県が自由に二次使用できるものとする（①著作権法第 20 条の規定による著作者の意に反した変更、切除、その他の改変を受けていないものに限る／②トリミング等加工（改変）を加えない状態のものに限る）。特に県のお事業に当事業の成果物（素材を含む）を利用することがあるため、著作権者がその旨を許諾したことが確認できる資料を県に提出すること。
- (7) 提案された企画・内容等については、契約締結後に受託者と協議の上、変更する場合がある。
- (8) 本仕様書に定めのないものについては、適宜協議を行い、その決定に従うものとする。